

# 2018年 国際こども会議 報告書

2018年9月28日作成

スプラタルカ

## 国際こども会議 開催概要

### 1. 会議の目的

自分の国や地域にあるもので、世界の平和に貢献すると思う何か（伝統、考え、人、歴史、もの、場所）について考え、それを紹介する。その過程で、自らの国や地域についての理解を深める。

また、世界の平和について、他国のこども達の意見を聞きそして議論することで、互いの国についての理解を深め、世界の平和について考える機会とする。

また、ボランティアスタッフとしての参加も含め、ジュニアリーダーの育成を目指す。

### 2. 会議の運営

主催：国際こども会議実行委員会、スプラタルカ

後援：恩納村教育委員会

### 3. 開催期日

2018年7月16日（月曜日）

日本時間 15:00 – 17:00

台湾 14:00 – 16:00

タイ 13:00 – 15:00

マレーシア 14:00 – 16:00

### 4. 会議参加者（4カ国） \* 中学生相当

① 日本： 恩納村及び県内在住中学生（10名）

② 台湾： 南新國民中學生徒（台南市）（30名）

<http://www.nsjh.tn.edu.tw/>

③ タイ： Rachawinit 校生徒（バンコク）（6名）

<http://www.rachawinit.ac.th/>

④ マレーシア： Batu Kawan 中等学校生徒（ペナン）（30名。見学生徒：25名）

<http://smkbatukawan.blogspot.jp/>

### 5. ボランティアスタッフ参加者

県内高校生 6名

## 6. 会議内容

テーマ：「あなたの国や地域のなかで、世界の平和に貢献すると思う何かをひとつ紹介して下さい。」

\*「何か」とは、具体的には「伝統、考え、人、歴史、もの、場所」などを示す。

「What Would You Choose From Your Country/Area to Contribute to World Peace?」

## 7. 会場

日本：恩納村博物館 1 階研修室

台湾：学校内

タイ：学校内

マレーシア：学校内

## 8. 会議形式

- ビデオ通話を使った 4ヶ所同時中継（大型スクリーンに映す）
- ビデオ通話システム：Zoom を利用
- 会議は一般公開した。また、テレビ局と新聞社の取材を受けた。（日本側）

## 国際こども会議 詳細

### 1. 会議のプログラム構成

会議の流れ	会議の詳細
あいさつ	日本、台湾、マレーシア、タイの順番で、各国の言葉であいさつ。
国や地域・学校の紹介	最初にお互いを知るため、自分たちの学校を簡単に紹介した。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 写真や絵を使って紹介した。</li></ul>
休憩	
意見の発表 (各国、ひとつの意見を発表する。)	「あなたの国や地域のなかで、世界の平和に貢献すると思う何かをひとつ紹介して下さい。」というテーマのもと、日本側から順番に意見の発表を行った。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 事前にまとめた意見を各国ひとつ発表した。</li><li>● 写真や絵を使って紹介した。</li></ul> <b>日本</b> ：沖縄にある「平和の礎」とその考え（特に日本人に限らずアメリカ人や他の国の戦死者・犠牲者も記録しているところ）は、世界の平和につながるであろうことを紹介した。 <b>台湾</b> ：自分達の英語クラスでは、世界の文化の違いを具体的

	<p>に知ることで、誤解や偏見をなくし、お互いを尊重するようにしている。このような授業は世界の平和につながるであろうことを紹介した。</p> <p><b>マレーシア</b>：マレーシアにはお互いの民族を尊重する文化がある。3 主要民族（マレー系、インド系、中国系）の文化や宗教や祭りを大事にし、お互いを尊重する文化は、世界の平和につながるであろうことを紹介した。</p> <p><b>タイ</b>：ブッダの教え、特に「許し、受け入れる」という教えは、世界の平和につながるであろうことを紹介した。</p>
<p>テーマについて、 各国から自由に質疑応答</p>	<p>4 カ国の意見が出揃った後、自由に質疑応答を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国を指定せず、自由に質問を取った。</li> </ul> <p>質疑応答例：</p> <p>日本側への質問：戦争で亡くなった人々に対して、どのように追悼の気持ちを表わすのか？（マレーシア）</p> <p>→慰霊の日の 12 時に黙とうをささげます。</p> <p>マレーシア側への質問：スカーフをいつもかぶっていて、暑くないですか？（台湾）</p> <p>→イスラム教徒として当然のことだし、こどもの頃からそうしているので慣れています。</p> <p>台湾側への質問：台湾にはどのような宗教がありますか？（タイ）</p> <p>→仏教、道教、キリスト教などがあります。</p> <p>タイ側への質問：仏教では、「許し」「忘れる」ことが大事だということですが、それは過去の戦争とかも忘れた方がいいのですか？（日本）</p> <p>→仏教の教えは心の教えだから、戦争などの事実を忘れる必要はない。</p>
<p>個人的意見の発表</p>	<p>これら以外の個人的意見やアイデアを求めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界の平和に関する個人の意見やアイデアを求めた。</li> <li>● 国を指定せず、自由に意見を取った。</li> </ul> <p>発表例：</p> <p>日本：年末に、事件や事故が一番少なかった国を表彰したらどうか？</p> <p>台湾：世界的レスキュー部隊を作って、世界中すぐに助けに行ける仕組みがあったらいい。</p> <p>マレーシア：お互い愛をもって接し、受け入れたら平和になると思う。</p>
<p>国際会議終了のあいさつ * ビデオ通話の終了</p>	<p>司会者による国際会議終了のあいさつ。 * ビデオ通話を終了する。</p>

休憩	
本会議のまとめ 感想の発表とワークシート 記入	今日の会議についてまとめた。 また、ワークシートに記入してまとめた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ビデオ通話を終了して、各会場（各国）別々に行った。</li> <li>● 今回の会議について意見や感想を参加者全員が発表した。</li> <li>● ボランティアスタッフも全員感想を述べた。</li> <li>● 会場（観客）からも意見や感想を取った。</li> <li>● ワークシートに自分の感想を記入した。</li> </ul> 会議参加者からもボランティアスタッフからも、「会議に参加して良かった」という感想だった。

## 2. 事前準備

1. 参加者には、テーマに沿って世界の平和に貢献すると思われる何か（伝統、考え、人、歴史、もの、場所など）について考え、事前にワークシートに記入してもらった。また、平和に関する個人的アイデアも考えてもらった。
2. 事前研修を二度開催した。（7月14日、16日）
  - ワークシートをもとに、それぞれが自らの意見を発表した。
  - 全員で意見をひとつにまとめた。（「平和の礎」）
  - 学校紹介の内容をまとめた。
  - 学校紹介とテーマについての説明のための資料づくりと、発表の練習を行った。
  - 役割分担（司会者、学校の紹介、「平和の礎」の説明）を行った。

## 3. 意思疎通の方法

1. 英語を前提とした会議ではないので、参加者が母語でやり取りできるようにした。
2. 意思疎通の流れは以下の通り
  - 「発表者（母語）」→「通訳（英語）」→  
→＜インターネット＞→「通訳（母語）」→「相手生徒」
  - 「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→  
→＜インターネット＞→「通訳（母語）」→「相手生徒」

## 4. 広報・案内

1. 恩納村の各学校にポスターを貼らせてもらった。
2. 県内各中学校への周知を県義務教育課に依頼した。
3. 各新聞社及びテレビ局に案内情報を送った。
  - \*会議の様子が夕方のニュースで放送された。
  - （各局サイト上に動画ファイルあり：2018年8月24日現在）

QAB：琉球朝日放送

<http://www.qab.co.jp/news/20180717104497.html>

OTV：沖縄テレビ

<https://www.otv.co.jp/newstxt/index.cgi?code=20180716182032>

RBC：琉球放送

[https://www.rbc.co.jp/news\\_rbc/](https://www.rbc.co.jp/news_rbc/)

## 5. 恩納村教育委員会による支援

後援者である恩納村教育委員会から、会場の提供や機材の貸し出しなど多大な支援を頂いた。おかげで事前研修や本会議を滞りなく開催することが出来た。

## 6. 会場施設の充実

恩納村博物館 1 階研修室の施設拡充工事が直前に完了し、大型スクリーンやインターネット回線を利用することが出来た。

## 7. 高校生による国際会議開催の検討

参加した高校生ボランティアスタッフを中心に、高校生向けの国際会議開催の可能性について話し合った。高校生による国際会議については、高校生が中心となって運営する形を提案したが、前向きな反応だった。

## 8. 参加者による、「世界の平和に貢献すると思われるもの」の意見一覧

「平和の礎」「慰霊の日」「ひめゆりの塔」「オリンピック」「轟の壕」「日本の憲法」「広島原爆ドーム」「沖縄の海」（海は世界中つながっている。そして、きれいな海は平和を表わしていると思うから。）、「音楽」（誰でも歌ったり踊ったりすれば楽しいし、みんな笑顔で幸せになれるから。）、「すし」（すしを食べれば、みんな「おいしい」と笑顔になる。それは世界の平和につながると思う。）

## 9. 参加者による、世界の平和に関するアイデア

日本
これからの未来を担う子供たちの意見を取り入れた政治をする。
18歳以下の子供は、「世界研修」を行って、平和について考える。
世界をひとつにする。「国」ではなく、市町村みたいなものにする。
「花まつり」をする。広場にたくさんのきれいな花を集めたお祭りをすれば、みんな楽しくなって友達になれると思うから。
「世界の中心建物」をつくる。世界中の特産物や文化が見られる所があれば、世界の魅力を知ることが出来るので平和につながると思う。
言語を同じにする。言語を同じにすることでコミュニケーションが簡単になり、もっと交流が増えると思うから。
世界中にお菓子工場を作って、地元の人が働けるようにする。仕事があって、おいしい

ものがあれば平和につながると思う。
戦争をしてはいけないという法律を、世界中で決める。
年末に各国の代表が集まって、事件・事故の報告をして、一番少なかった国を表彰する。

<b>台湾</b>
世界的レスキュー部隊を作って、世界中すぐに助けに行ける仕組みがあったら、世界の平和につながると思う。
世界的救急医療部隊を作って、世界中すぐに助けに行ける仕組みがあったら、世界の平和につながると思う。
儒教の教えは、世界の平和につながると思う。

<b>タイ</b>
テーマについての意見に同じ。(仏教について)

<b>マレーシア</b>
イスラム教の教えが世界中で実践されれば、世界の平和につながると思う。なぜならその教えには、たとえ戦争のときでも、無実の人、特に女性や子供を傷つけたり殺したりしてはいけないとあるから。またその教えには、地位や家柄によって差別してはいけないとある。
お互い愛をもって接し、受け入れたら平和になると思う。

## 10. 参加者による、感想

他の国の、世界の平和に貢献するものやアイデアがいろいろあって、面白かった。
会議をして、他の国も平和でいたいことが分かった。
民族に関係なく、知人や親せきを招いてお祝いをするというマレーシアの「オープンハウス」という習慣はすばらしいと思った。
タイでは仏教の教えが広がっていて、ブッダを尊敬していることが分かった。
このような会議で、お互いの違うところを理解し合い尊重することで、争い事が減り、平和になると思った。
言葉は通じないけど、思った以上に文化や思いが通じて楽しかった。
台湾の人たちも言っていたが、お互いの違いを知ることが大事だと思う。
もっとブッダの教えについて聞きたかった。
平和を目指すなら、まず他国の文化や宗教を尊重し理解することが大切だと改めて思った。
私達日本人の考えだけではなく、今回の会議などを通して色々の国の考えを聞くことが世界の平和に貢献すると思うので、これからもこのような会議を続けてほしい。

## 11. 成 果

<p>中学生を対象とした複数国参加のビデオ通話国際会議の開催は、我々としても初めての試みであった。4カ国の子供たちが、大きなトラブルもなく、世界の平和などについて自由に意見交換ができたという意味で、まずは十分な成果といえる。</p>
<p>新聞への掲載に加えて、テレビのニュース番組で取り上げられたことは、本会議及びスプラタルカという組織を、より多くの人に伝える効果があった。</p>
<p>前はネットワークの問題で、4ヶ所同時中継に問題があったが、今回はそのような問題が発生しなかった。これは、ビデオ通話システムを変更したことが大きいと思われる。(今回、スカイプから Zoom に変更した。)</p>
<p>少ないながらも、恩納村以外の地域からの参加者があった。</p>
<p>去年ボランティアスタッフとして参加した子供達が、今回も再びボランティアスタッフとして参加してくれた。これはつまり、その価値を認めているということだろう。</p>
<p>高校生の国際会議について検討することが出来た。開催する方向で検討する。</p>

## 12. 課 題

課 題	対 策 (案)
参加者が 10 名と少なかった	<p>まだまだ一般に認知されていないと感じた。ただ、ニュース番組で紹介されたことや継続して開催することで、徐々に参加者が増えていくことが期待できる。</p>
意見のまとめで戸惑った	<p>テーマに沿った意見をまとめる段階で戸惑った。最初のまとめ(投票)では、「おいしいものを食べるとみんな幸せになるので平和に貢献する」として「寿司」が一番多かった。しかし、それは例えばインドの人が「カレーが世界の平和に貢献する」と言ったときにどう思うか?というような問いかけの結果、最終的に「平和の礎」にまとまった。</p> <p>今回は、各自の意見発表ののち、それぞれの意見をしっかりと吟味せず採決したことに問題があった。今回のように複数の意見の中からひとつを選択する必要がある場合は、それぞれの意見について全員で十分に吟味して行く必要がある。</p>
会議時間の延長	<p>会議の時間を大分延長してしまった。通訳やネットワークの問題があるので、それぞれの発表時間を短くするよう依頼していたが、それぞれ伝えたいことがたくさんあるので、思うようにはいかなかった。</p> <p>次回は、より厳密に時間を管理する必要がある。</p>
参加者の緊張を解く	<p>会議参加者は初対面同士も多いので、その緊張を解き、緊密なやり取りが出来るように、事前研修の最初の段階でゲームを取り入れるような工夫をすべきだった。</p>

## まとめ

中学生を対象とした複数国参加型のビデオ通話国際会議の開催は、我々としても今回が初めてである。去年は小学生を対象とした同様の国際会議を開催した。

これを機に、小学生・中学生それぞれに向けた国際会議を毎年開催していく予定である。また、高校生・大学生・一般を対象としたビデオ通話による国際会議もしくは交流の場も検討して行きたい。

ビデオ通話を使ったコミュニケーションには大きな可能性がある。我々は、そのための交流ネットワークを築き発展させることを目指している。多くの人々が、このネットワークを活用して国を越えたコミュニケーションを楽しみ、そのやり取りを通して少しでも互いの誤解や偏見や無知が無くなって行くことを願う。

## Supratarka

<https://www.supratarka.org/>      <https://www.facebook.com/supratarka/>

[info@supratarka.org](mailto:info@supratarka.org)





# 国際子ども会議のようす



学校給食の紹介



質問！



「平和の礎」の説明



スタッフの役割



お互い向き合って



インタビュー！



さようなら。また会いましょう！



会議参加者



ボランティアスタッフも一緒に



議事録もスタッフの仕事



台湾側の様子



台湾側の様子



タイ側の様子



マレーシア側の様子



マレーシア側の様子